

令和3年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領について(概要)(案)

本体調査(悉皆調査)

- ・実施日:令和3年5月27日(木)
- ・国語、算数・数学の2教科及び質問紙調査(児童生徒・学校)を実施

経年変化分析調査(抽出調査)

- ・実施日:令和3年6月1日(火)～6月30日(水)で抽出校が可能な日
- ・国語、算数・数学、中学校英語の抽出調査(小学校は約 600 校、中学校は約 750 校)

保護者に対する調査(抽出調査)

- ・経年調査を受けた児童生徒の保護者を対象として実施

○新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し、実施日程を変更。

☑調査日は、原則として、火～木曜日のうち、4月18日に最も近い日としていたが、令和3年度は約1か月程度後ろ倒し、令和3年5月27日(木)へ変更。

☑後日実施※の期間は、通常、調査日の翌日から約2週間としているところだが、令和3年度は期間を約1か月間に延長し、令和3年5月28日(金)～6月30日(水)とする。

※調査の実施日に、特定の学校において調査を実施できないやむを得ない事情等がある場合、教育委員会及び学校等の判断により、当該学校における調査実施日を後日に変更すること。後日実施の場合、全体の集計からは除外することとするが、文部科学省は後日実施期間に実施された調査については、採点及び調査結果の提供を行う。

○経年変化分析調査及び保護者に対する調査(抽出)を実施。

☑平成25年度、平成28年度に引き続き、抽出による「経年変化分析調査」を実施。

☑平成25年度、平成29年度に引き続き、抽出による「保護者に対する調査」を実施。

☑「経年変化分析調査」及び「保護者に対する調査」の調査対象校を統一。3年に一度程度の実施を予定。

☑経年変化分析調査において、中学校の教科調査に新たに英語を追加して実施。

<経年変化分析調査 中学校 英語について>

☑「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4技能を調査。

☑「聞くこと」「読むこと」「書くこと」調査は筆記方式(45分間)とする。「話すこと」調査は原則として口述式によるものとし、PC 端末を活用した音声録音方式(約5分間)とする。

☑「聞くこと」「話すこと」調査に関しては、聴覚や発話に障害がある生徒に対して所要の配慮をする。

(参考) 本体調査の実施に関する時間割モデル

◆ 小学校

1時限目	2時限目	
国語 (45分)	算数 (45分)	児童質問紙 (20～40分程度)

※児童質問紙調査は、2時限目終了後に、各学校の状況に応じて、柔軟に実施可能。

◆ 中学校

1時限目	2時限目	
国語 (50分)	数学 (50分)	生徒質問紙 (20～45分程度)

※生徒質問紙調査は、2時限目終了後に、各学校の状況に応じて、柔軟に実施可能。

< 補足 >

一部の学校において、学校の端末を活用して児童生徒質問紙調査を実施する。

(参考) 経年変化分析調査の実施に関する時間割モデル

◆ 対象小学校(国語, 算数)

実施可能な1時限 (40分)
国語又は算数 (40分)

◆ 対象中学校(国語, 数学)

実施可能な1時限 (45分)
国語又は数学 (45分)

◆ 対象中学校(英語: 対象学年が3学級で、1教室での調査実施の例)

1時限目 (50分)	2時限目 (50分)	3時限目 (50分)	4時限目 (50分)
英語「聞くこと, 読むこと, 書くこと」 (45分)	英語「話すこと」 + 生徒質問紙 (1組) (15分×3グループ)	英語「話すこと」 + 生徒質問紙 (2組) (15分×3グループ)	英語「話すこと」 + 生徒質問紙 (3組) (15分×3グループ)

※英語「話すこと」+ 生徒質問紙調査にかかる時間は、準備や移動等を含み 15 分程度。

※対象学校には、必要に応じて、事業者から端末やヘッドセット等を貸与する。

※調査対象学年の生徒全員が「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」、「話すこと」に関するすべての調査を6時限以内で終了するとともに、生徒間で調査に伴う音声がか聞こえにくい距離を保つこととし、1学級を数回に分けて1時限の中で実施することを基本とする。

※対象学校には事業者からサポート員を派遣する。